

“日帰り探索ウォーク”

ガイド：歴史古街道団 宮田太郎団長（古街道研究家）

“多摩丘陵を乗り越えた古街道遺跡群-①”

武田信玄の大軍勢が通った御殿峠古道

■日時：2018年10月16日(火)

■集合：JR横浜線「片倉駅」北口改札前広場 9:30

■解散：JR横浜線「相原駅」15:45 頃

■参加費（資料代、保険料含む）：一般は1,000円/1人
団員700円（団員家族は2人で1,000円）

■その他：飲料、雨具等、各自ご持参ください。

■申込み：事前申込不要。現地受付。

雨天の場合は基本的には中止。小雨の場合、実施することもあるので、当日の朝7:30までにお問合せ下さい。
(宮田)090-7002-3431

【内容】関東平野の西側を南北に通る大幹線道路「御殿峠古道」＝別名：小田原道、日光道、川越街道。国道16号の原型ともいえるこれらの古街道は、戦国時代に武田信玄の大軍勢が小田原城攻めで進軍したルートだったことが複数の軍記物の記述からもわかります。峠の一角は平安時代の国内最大級の面積ともいわれる「南多摩古窯址群」の中心地。付近から出土した須恵質の大型の甕や精巧な椀などの土器類は、八王子郷土資料館にも展示されています。

一角は、約1.3キロMに渡って奇跡的に古道跡が遺り、1988年頃から宮田（団長）が記録してきた相原氏（伝・相原孝遠）や按察使大納言（伝）の館跡地、また中世の無名の山城？砦跡？遺構も確認されます。

来年以降に、地元の皆さんの有志とも協力し合い、共に目指す「日本遺産登録」への挑戦が始まります。今回はその予備調査を兼ねた現地探訪ウォークです。皆様奮ってご参加ください。



御殿峠古道（八王子片倉～町田市相原）



【コース】都合により変更の場合有り

JR横浜線「片倉駅」北口改札前広場 9:30 集合（*時間にご留意ください）～
絹の道と御殿峠古道の分岐点～御殿峠古道～最古の鎌倉道～八王子みなみ野駅前
にて自由昼食（ファミレス、コンビニなどで）～御殿峠の旧小田原道～御殿峠古
道～JR横浜線「相原駅」（約5キロM）解散は15:45頃



歴史古街道団
本部：東京都多摩市
宮田太郎（歴史古街道団団長）TEL 090-7002-3431
<http://rekkodan.a.la9.jp/>

2018-NO. 24